

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 11 日作成)

小委員会名	地盤基礎系振動小委員会		主 査 名：藤森健史 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)		委員長名：五十田博 (主 査 名：菊地 優)
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	目的：建物と地盤の動的相互作用（以下、SSI と記す）に係る研究レベルの向上、耐震設計への展開、建物耐震安全性向上への貢献 初年度：SSI に係る最新の研究・調査・設計例の選出と技術資料化 2 年度：上記の技術資料を基に刊行物の原稿作成 3 年度：SSI に関する刊行物の査読対応、大会 PD 対応 4 年度：刊行物の刊行と講習会の実施		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：藤森健史 (大林組) 幹事：護 雅史 (名古屋大学), 木村 匠 (清水建設), 酒向裕司 (小堀鐸二研究所) 委員：新井 洋 (建築研究所), 柏 尚稔 (大阪大学), 勝二理智 (大林組), 杉野未奈 (京都大学), 中野尊治 (大阪大学), 中溝大機 (日建設計), 吉澤睦博 (竹中工務店), 吉田洋之 (東電設計)		
設置 WG (WG 名：目的)	動的相互作用 WG：建物と地盤の動的相互作用に係る最新の研究・調査・設計例の分析、技術資料化を行い、刊行物に反映させる。		
2023 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s45/JibanKisoHP.html	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	1. PD：過去の地震からの学び（研究）を活かすために — 観測や被害原因の分析と設計への展開 参加者数 389 名 『構造部門（振動）パネルディスカッション資料：同上』
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	当初の計画どおり、大会 PD を開催し、若手の委員を中心とした話題提供を実施、また、刊行物『建物と地盤の動的相互作用の現象と解析』について、予定どおり 2023.12 に構造本委員会からご承認、2024.6 に刊行および講習会開催予定
委員会活動の問題点・課題	これまでの成果を刊行物にまとめることができたので、今後は新たな研究展開についても模索していきたい。